

「ラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ

2020年3月3日放送分

【肴町／大町三丁目横丁 本荒町／良覚院丁】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱=辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送と合わせてお楽しみください！

- 前回から始まった「奥州街道を江戸へ」シリーズ。
- コーナー3本目の辻標は、肴町公園の隅っこに立っています。肴町は仙台城下に6つあった「御譜代町」の1つで、仙台藩から魚介類の専売権を与えられて賑わいました。戦前までは問屋さんや仲買人、飲食店などが集う賑やかな町でした。ちなみに肴町公園というのは、当時の町割りの1区画分だそうです。そう思ってみると、結構広いですよね！周辺住民だけでなく、近くで働くビジネスマン達の憩いの場となっている肴町公園です。
- 私と木村さんは、大町三丁目横丁を南に…青葉通方面へ向かいます。晩翠草堂のそばに「本荒町／良覚院丁」の辻標があります。元々、ここに「荒町」と呼ばれる町があったのです。でも荒町って、今では若林区にある商店街ですよね？
- そちらへんのお話は、奥州街道を江戸へ向かうにつれて徐々に明らかになりますので、お楽しみに！
- 〈文・佐々木淳吾〉